

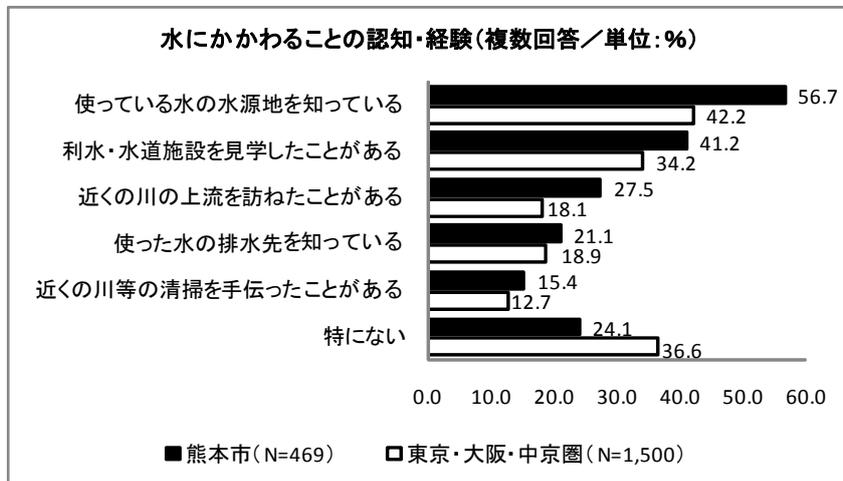
Q.水にかかわることで知っていること、経験のあることは？（5択+特にない）

◇熊本市民の6割近くが「使っている水の水源地を知っている」

約4割が「利水施設・水道施設を見学したことがある」

熊本市民は56.7%が「使っている水の水源地を知っている」とし、半数を超えています。また41.2%が「利水施設・水道施設を見学したことがある」としました。

東京・大阪・中京圏と比較すると、「水源地を知っている」は14.5ポイント、「近くの川の上流を訪ねたことがある」は9.4ポイント高く、水資源への関心の高さをうかがわせました。



Q.あなたの居住地域に、水に関して誇れることはありますか？

Q.水に関して誇れることは何ですか？

(15択+その他/前問で「誇れることがある」人のみ回答)

◇熊本市民の約9割が「水に関して誇れることがある」

◇誇れることは「湧水」「水道」

熊本市民の約9割(91.7%)が「水に関して誇れることがある」としました。これは東京・大阪・中京圏の3倍強に相当します。

そして「水に関して誇れること」として、熊本市民の「誇れることがある」人のうち59.5%が「湧水」、56.5%が「水道」をあげました。東京・大阪・中京圏で最も多かった「川」は31.2%で、3位でした(東京・大阪・中京圏は58.5%)。

東京・大阪・中京圏と比較すると、熊本市民の方が「湧水」は51.0ポイント、「水道」は42.1ポイントも高い結果になりました。湧水をはじめあらゆる水資源が「水遺産」として登録されている熊本市では、水道水に対する誇りが高く、これが水道水の水源地などにも興味・関心を向けさせ、水源地の認知や施設の見学につながっていると考えられます。

